

## 令和6年第9回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和6年9月13日(金) 午後1時30分～午後1時55分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 河合 香吏

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 向 文緒

【事務局】 教育部長

森本 邦博

いきがい創生部長

塚本 滋

教育総務課長

中山 一徳

同 課長補佐

田之上 愛子

同 担当主査

砂田 恭平

同 主任

倉知 美香

学校教育課長

前原 敦

同 主幹

梶田 英男

同 指導主事

湯浅 公

同 課長補佐

梶原 和行

学校給食課長

加藤 純也

文化財課長

北野 将好

野外教育センター所長

生倉 勉

同 主幹

坂野 年伸

いきがい推進課長

大野 利重

文化スポーツ振興課長

田中 芳樹

図書館長

四ツ倉 光一

4 報告

(1) 令和7年(第1回～第3回)教育委員会定例会の日程について

## 5 議事概要

教育長

本日の傍聴者は1名。

教育長

春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、河合委員を指定。

教育長

(報告事項)

本日も大変暑い日だが、先日発表された長期予報では、このあとでも平年より気温の高い状況が続く予想となっている。これからは、8月のような暑さにはならないものの、季節の進みは遅くなる見通しとのこと。それでも朝夕は、日差しが弱くなり、幾分か秋を感じるようになり、来週17日はもう「中秋の名月」である。「中秋の名月」は、旧暦の「秋の8月から10月」のちょうど真ん中の、「8月15日の月」のことだそうで、「中秋に見られる美しい月」を意味している。満月とは関係なく、今年の満月の日は、18日である。

8月26日、27日に少年自然の家で、「イングリッシュ・キャンプ」を1泊2日で行った。51名の生徒がグループに分かれてALTとともに過ごし、英語のみで会話をし、語学力を磨いた。参加した生徒は、グループで協力しながら、春日井の紹介を作成し、最後にまとめとして全員の前で英語で発表を行った。「自分の英語が通じることが分かった」などの感想が寄せられた。また、8月28日には、小学生男鹿市交流学习報告会を行った。参加した児童は、3グループに分かれ、交流学习で見聞きしたり感じたりしたことを発表した。プレゼンテーションソフトを使い、決められた時間内での工夫した発表に、参加した市長・議長・保護者は拍手を送っていた。

8月23日の「オリンピックに学ぶかけっこマイスター教室」には、133名が参加した。当日は小雨だったが、気温が高くなく運動をするには良い環境だった。「オリンピック選手に教えていただき楽しかった」「大学生の素敵な走りに感動した」「走り方のコツがよくわかった」など好意的な感想がたくさん寄せられた。

鳥居松小学校の長寿命化計画による大規模改修は、普通教室が全て終了した。先日、学校を視察したが、全校児童が見違えるようにリニューアルされた教室で学習していた。校舎内の内装は全てリフォームされ、教室・廊下の床も木目調で、内装も木の温かさを感じる造りになっている。また、トイレも新しくなり、多目的トイレも複数設置し、エレベーターも新設した。残りは、図書室などの一部

の特別教室と外壁塗装である。今年度中には全て完成する予定である。

体育的行事については、秋に行う学校は以前は9月に行っていたが、暑さ対策のため時期を遅くして、9月終わりに中学校1校、10月に小学校20校と中学校9校、11月に小学校3校が行う予定である。

9月26日より後期の学校訪問が始まる。また、11月1日に出川小学校・高森台中学校で、文部科学省指定の「研究開発学校」研究発表会を行う。

教育長

1 報告事項

(1) 令和7年(第1回～第3回)教育委員会定例会の日程について

教育総務課長

資料に基づき「令和7年(第1回～第3回)教育委員会定例会の日程」について説明。

○参考資料について

向委員

16ページと17ページ記載の「あそびむしくらぶ」の定員について、8月事業報告では「2・3歳児を含む家族30人」となっているが、10月事業計画では「2、3歳児と保護者30人」となっている。変更された意図を教えてください。

野外教育センター所長

「家族」とすると兄弟姉妹も含むと捉えられてしまうため、「家族」ではなく「保護者」とした。

向委員

4歳や5歳の兄弟姉妹を連れて参加することはできず、子どもは、2・3歳児に限定しているということでしょうか。

野外教育センター所長

そのとおりである。

河合委員

9ページの8月土曜チャレンジ・アップ教室の開催実績で、参加者の児童と高校生が同じ人数になっている。事前に参加児童の人数

がわかっており、児童1人に対して高校生1人が付くということで、この人数になっているのか。

学校教育課長  
補佐

児童の参加者を事前に把握しており、また、当日参加も飛び入り参加も認めている。ボランティアの春日井高校の生徒は、この人数以上いたが、児童と高校生を1対1とするため、高校生の人数を調整し、記載のと通りの数字となっている。その他の高校生は、サマースクールでボランティアとして活動をしていただいた。

河合委員

8ページのいじめ不登校相談件数について、これは前々から続いている相談なのか、それとも夏休み明けの登校が不安だという相談なのか。

学校教育課長

新規の相談も継続の相談もどちらもある。主に電話で、匿名で相談されることが多い。学校名や氏名を把握できた場合は、学校に繋げてよいか相談員が聞いて、了承が得られた時は教頭に繋いだりしている。

浅井委員

いじめの相談を受ける時は、名前等聞かずに相談を受けることもあるのか。

学校教育課長

名前を聞かないことの方が多い。名前等話してくれれば、それを元に繋いでいくことはできる。匿名の場合、学校へ繋ぐか相談員が声掛けはするが、学校名を言いたくない児童生徒については、自分で学校の先生や担任の先生に話ができるか相談員が聞き、自分から話すように促している。

浅井委員

話を聞くだけで、何か返すということがない場合もあるということでしょうか。

学校教育課長

話を聞いてアドバイスをして終わりという時があれば、学校に繋ぐ時もある。

浅井委員

繋いだ場合は、その子が特定されるような話には持っていかないということでしょうか。

学校教育課長

特定ができれば学校に繋ぐが、特定するために本人から無理に聞き出すということはない。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和6年10月16日

教育長 児島 靖

署名人 河合 香吏